

地域発
公明党

さわやか

NO. 34
ニュース

公明党鶴見支部
発行責任者
鈴木 ひでし

これで安心 大雨シーズンを控えて

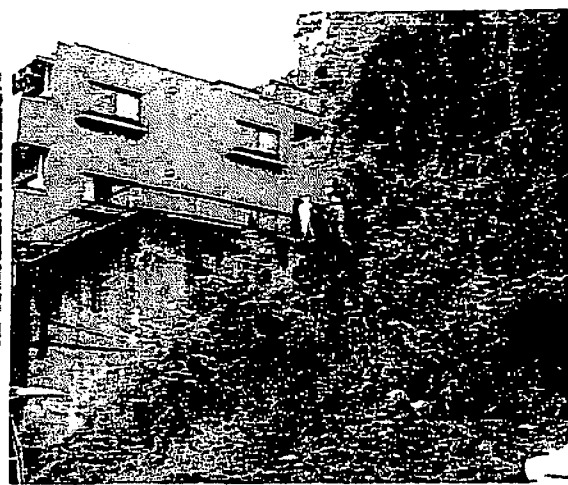
『崖』補修工事(上末吉四丁目)始まる

平成一六年一〇月九日夕刻より関東地方に近づいた、台風二二号は大雨を伴い鶴見区にも大きな被害を及ぼした。その中で、鶴見区上末吉四丁目十一番裏手の崖が、翌十日深夜高さ二〇m、幅二〇mにわたり崩壊した【写真A・B】。人身に被害はなかったものの、崖下のマンションでは、一階の室内に土砂が流れ込み、あわやの状態であった。特に一軒のお宅では、窓から土砂が入り込み、二段ベットのの上の段に寝ていた子供さんの目の前まで土砂が迫った状態であった【写真C】。

鈴木県議・まきしま市議現場へ走る

翌十一日早朝、公明党の 鈴木ひでし県会議員、まきしま秀昭市会議員は、現場に急行、人身等の被害がないことを確認し、状況詳細を、鶴見区役所、鶴見区土木事務所、県崖対策課、神奈川県治水事務所等に連絡、現状の復旧作業、新たな崖崩落の危険排除、恒久的な崖対策について、神奈川県、横浜市に矢張り早に要望を出した。

B：傾いた地滑り確認用ポール (矢印)



A：マンション室内から土砂を出している



C：子供部屋の窓から流れ込んだ土砂 (右手前、二段ベット)

☆☆☆して今☆☆☆

安全の街めざし地域の声実現

上末吉四丁目急傾斜地(裏面に地図)崩壊対策工事 工期四ヶ月 発注時期第1四半期と決定」との平成十八年度予算提示連絡がありました。公明党では、県、市に対して台風、大雨のシーズンを前にして一日も早い恒久的崖対策を要求していたものが異例の早さで実現しました。

(近隣住民の声)

本当に良かった、大雨が降ると不安で不安で。これで安心して生活できます。

「崖」補修工事現場（上末吉4丁目）地図

